真庭市内県立高校合同

オーストラリア研修



3年 落合中出身

辻本 実桜

「世界の教育に触れ、視野が広がりました！」

私は将来教員になり、地元の子どもの学びを支えたいと考えています。現在、様々な教育課題への対策は進められているものの、解決しきれていない現状があります。その課題を海外の教育と照らし合わせることで、新たな視点や解決のヒントが得られるのではないかと考え、今回のオーストラリア研修について調べました。

調べてみると、オーストラリアが多民族・多文化国家であり、互いの文化を尊重する多様性のある国であることや、専門性・実用性の高い選択科目が豊富で、個に応じた学びへの転換が進んでいることを知りました。こうした教育について、インターネットだけでは分からないことを現地で直接体感したいと思い、研修に参加しました。

初めて会う外国の方々と二週間を過ごすことに不安もありましたが、言葉だけでなく表情やリアクションを大切にしながらコミュニケーションを取るよう心掛けました。最初は会話を聞き取ることが難しかったものの、次第に会話を楽しめるようになり、二週間という短い期間の中でも確かな成長を感じることができました。

また、現地の先生方には日本で準備していた質問に答えていただき、自分の教育観や探究したいことを改めて見つめ直す貴重な機会となりました。

来年以降参加を希望する人には、ぜひ目的意識を持って挑んでほしいと思います。渡航前に「現地で何を学びたいのか」を明確にしておくことで、研修で得られるものはより大きくなるはずです。受験を控える三年生にとっても参加する価値はあると思います。視野を広げることで自分の考えが変わることもあれば、比較した結果として改めて自分の考えを確かめることもできます。どちらも大切な学びにつながるので、ぜひ臆せず挑戦してほしいと思います。





1年 北房中出身

中山 楓菜

「一歩踏み出して、世界が広がりました！」

私は英語を学ぶことは好きでしたが、実際に海外で英語を使った経験はありませんでした。中学3年生のとき、勝山高校にはオーストラリア研修があることを知り、その制度に大きな魅力を感じて入学しました。私はまだ将来の夢ややりたいことが決まっていなかったため、日本を飛び出して海外で生活することで、自分の将来について考えるきっかけが得られるのではないかと思い、研修への参加を決めました。

ホームステイでは、言葉が伝わるか、ホストファミリーと良い関係を築けるかなど不安もありました。しかし実際には、ホストファミリーが私たちの話を理解しようとしてくださり、分からない言葉も別の表現で伝えてくれました。英語を完璧に話せなくても、簡単な単語やジェスチャーで十分に会話ができることを実感しました。

また、現地校では、実際に授業を受け日本との違いを知ることができました。オーストラリアの生徒も一人一台のタブレットを活用して学習しており、海外の学校生活を身近に感じることができました。

研修を終えて、初めて海外で生活したことで視野が大きく広がりました。悩みごとがあっても、世界の広さを知ったことで以前より前向きに考えられるようになったと感じています。また、現地での様々な人との出会いを通して、コミュニケーション力にも自信がつきました。

初めての海外は不安もありましたが、二週間はあっという間で、とても充実した時間になりました。参加を迷っている人がいれば、ぜひ挑戦してほしいと思います。この経験は、自分の将来や可能性について考える大きなきっかけになるはずです。





ボランティア

今年度、春から夏にかけて本校の生徒が取り組んだ、ボランティア活動の実績を報告します。1学期から夏休み期間中にかけて、地域の行事やイベント、子ども・教育、福祉関係など、さまざまな場で延べ 67 名の生徒がボランティア活動に参加しました。





【主な活動先一覧】

- ✓**地域行事・夏祭り**：下方夏祭り、落合納涼盆踊り大会、磯田道史講演会
- ✓**福祉・子ども関連**：久世サマースクール、勝山公民館サマースクール、大佐中学校学習サポート、北房てらこや教室、勝山こども園、落合こども園、千寿荘、蒜山デイサービスセンター　他
- ✓**その他の活動場所**：サポートあい、手話サークル

この他にも、多くの地域の皆さまに温かく受け入れていただき、貴重な体験の機会をいただきました。ご協力ありがとうございました。